

## 産業構造審議会 製造産業分科会 航空機宇宙産業小委員会（第4回）議事要旨

日時：令和5年7月20日（木）9：00～11：00

場所：経済産業省 本館17階 国際会議室

出席者 鈴木委員長、青木委員、秋池委員（オンライン参加）、阿部委員、浦松委員、奥田委員、駒井委員、下川委員、戸塚委員、原田委員、福島委員、宮田委員、望月委員、盛田委員、李家委員、大鼓様（吉山委員代理）

### 議題

- （1）我が国の航空機産業の市場規模拡大に向けて
- （2）全体討議
- （3）全体のスケジュールについて

### 議事概要

鈴木委員長により、議題に沿って議事を進行。

議題（1）について、防衛装備庁、東レ株式会社、多摩川精機株式会社、ANA ホールディングス株式会社、日本航空株式会社、TANIDA 株式会社、株式会社 SkyDrive 及び事務局（経済産業省航空機武器宇宙産業課）から資料に沿って説明。

その後、議題（2）全体討議において各委員から意見が述べられた。主な意見は以下のとおり。

- 各社とも需要が見えない中で先行投資をしなければならない環境において、どういう形でビジネスまで繋げていくのかという視点で全体設計を検討することが重要。
- 素材、部品、完成品、また大手企業から中小企業まで、航空機産業は裾野が広い。これら全体を強靱化するためには、契約や型式証明というようなところに国が支援をできるとよいのではないか。
- 空飛ぶクルマについては、サプライチェーンの構築や量産体制の構築も開発と同時に進めていかないと市場化に遅れかねない。
- それぞれ競争力はある一方、技術で勝って市場で負けたということにならないよう、価格設定等、戦略的にすすめていくことが必要。
- 小型機を中心とした地方空港のインフラ整備に当たっては、周辺の工業地帯や港湾との連携が重要。
- 先行投資・長期回収というビジネスモデルに対する資金面での支援は極めて重要。
- 国際的なサプライチェーンの混乱期である現在は、日本がサプライチェーンに入り込む

チャンス。友好国のサプライチェーン強靱化に貢献することは経済安保上も重要。その際、本当に必要なモノが何かという分析は必要。

- 固定費が大きい航空機産業に民間から金融支援を行うには、需要の不透明性というリスクがある。垂直統合されている海外企業とは異なり、日本は各社がサプライチェーンの各工程を担っており、個社の努力が全体最適とならない可能性。バリューチェーン全体における協業が重要であり、これを実現するためにOEM含めたビジョンの共有が必要。
- 金属加工業における産業廃棄物の課題については、業界全体の課題。再利用を進めていく取組も出てきているが、カーボンニュートラルの観点からも、競争力強化の観点からも非常に重要。関係者全体でノウハウを共有していくような視点が必要。
- 航空機のサプライチェーンの実績のAAMへの適用は、逆もあるのではないかと。電動化や水素航空機は、新しいサプライチェーンが必要。例えば、電動モーターやプロペラは、AAMの量産サプライチェーンだけでは小さい。航空機も含め、日本が強みを活かして、新しいサプライチェーンにおける優位性をどのように獲得していくのか検討していくべき。
- 防衛装備庁やSkyDriveにおいても活躍されているが、MSJの認証取得に携わった人材を業界全体内で活用すべき。認証取得に至るまでに何をすべきか、最初に何をすべきだったかという知恵や経験を国でまとめ、人材の継承・育成に繋げることができないか。
- 競争力という点で、炭素繊維や鋳物、センサなど、日本としての強みを認識。その上で、国際共同開発でプレゼンスをあげるためには、強い部分を如何にパッケージにできるかが重要。エンジン業界にはbest of the bestという言葉があるが、ベストなパッケージを日本が持っているかどうか。パッケージの仕方によっては材料等の個別認証が良い。このパッケージをどうしていくのかというターゲティングが重要。
- 海外の諸団体における認証や開発において、どう協業するか、主張を通していくかというのは各社共通の課題であり、グローバルエンジニアの存在は重要。一方、現在は海外の機関に若いエンジニアを送り込み、協業に向けた調整段階を経験させることで成長させるという機会が減ってきており、契約後でないと技術的な議論ができない環境にある。こうした機会を一社だけでは作り出すことが難しく、政府支援が重要。
- 航空機産業と一言で言ってもあらゆる要素がある。こうした要素を集めビジョンとして示すことが重要。以前、本小委員会が示したビジョンが、装備品産業の取組を活性化させ、長野県における取組など、各地の様々な取組に波及した。航空機産業を巡る環境は大きな変化の中にある。それぞれの立場でどのような機会があり、貢献ができるのかというビジョンを示すことが重要ではないか。

以上